

2019 年度ヤマトグループ入社式 社長訓示（要旨）

新入社員の皆さん、ヤマトグループへの入社、おめでとうございます。

ヤマトグループは今年 2019 年 11 月 29 日に、創業 100 年を迎えます。次の 100 年も、当社がお客さま、そして社会に愛されながら、成長を続ける企業グループとなれるよう、全社をあげて取り組んでいきましょう。

ヤマトグループは、1919 年 11 月 29 日に東京の銀座で創業しました。創業者の小倉康臣氏は、当時荷馬車などによる輸送が主流の中、日本に 204 台しかなかった自動車の内、4 台を所有し事業を開始しました。そして、創業から 10 年たった 1929 年に日本で初めて「路線事業」を、その後、1971 年に社長に就任した小倉昌男氏が 1976 年に「宅急便」を開始。その後、宅急便の高度化、浸透を通じて、それまでなかった手ぶら文化や産直文化、お取り寄せの文化などを世の中に生み出し続け、今では水や電気などと並ぶ社会的インフラとして多くのお客さまに認知をいただいています。

現在、私たちを取り巻く経営環境は非常に速いスピードで変化しています。超高齢社会、人口減少と地域格差の拡大、生活と嗜好の多様化、企業活動のボーダレス化、新技術の発展と普及など、常に環境の変化を敏感に捉え、私たちも絶えず変化をしていかなければなりません。

こうした中で、私たちが現在取り組んでいるのが、中期経営計画「KAIKAKU2019 for NEXT100」です。この計画では、「働き方改革」を経営の中心に据え、グループ全体で「働きやすさ」と「働きがい」を構築し、ヤマトグループの原点である「全員経営」を実践することで、次の 100 年に向けた経営基盤をしっかりと構築することを目標としています。

そして、本日からその 3 年目に入ります。

このような取り組みを行っている当社が、常に変わることなく大切にし、全ての根幹に持ち続けているものが「社訓」や「経営理念」です。

是非、新入社員の皆さんには、こうした理念を理解、意識していただき、日々の業務や生活に取り組んでももらえればと思います。

最後に、新入社員の皆さんに期待することを 3 つお話します。

1 つ目は、関心・興味を持つこと。

2 つ目は、行動・体験すること。

3 つ目は、振り返り、考えることで吸収すること。

この 3 つのサイクルをしっかりと各自で回すことができる社員になってください。

これからのヤマトグループが、次の 100 年も成長を続け、地域で一番身近で一番愛される会社になるためには、ここにいる 821 人の皆さんをはじめ、ヤマトグループ 22 万人の力をあわせていかなければ決して成し遂げられません。

ヤマトグループの次の 100 年を、一緒に創り上げていきましょう。

ヤマトホールディングス株式会社
代表取締役社長 長尾 裕